

元發洲帝國軍二ノ二一六隊ノVX四四七八七號

「E・P・マクレイ」少佐ニシテビクトーリヤ州
ボーソン、マーニオン、グローザー四番地ノ私、
「イアン・マクレイ」ハ宣誓シ左
ノ通り陳述シマス、

(一)一九四二年二月二日「アンボシ」デ私ハ俘虜ト
ナツタ。二百六十二名ノ他ノ英洲兵俘虜及約三百
名ノ南洲兵俘虜ト一船ニ私ハ一九四二年十月二十
五日「アンボシ」カラ海南ヘ輸送サレタ。日本軍
ノ指示ニ依リ「アンボシ」カラノ全郡ノ病人及弱
イ者ハソノ全連隊ニ入レラレ、ソノ大部分ヲ機底
シテサマ。我々ハ一九四二年十一月三日海南ニ到
着シタ。

(二)收容所ノ敷地ハ佷イ線狀鐵線ノ柵ヲ周圍ニ圍ラ
シタ約十「エイカー」ノモノデアツタ。小屋ハア
ラユル木ヤ鐵ノ屑デ造ラレタ原始的ナ苦力用ノ「
ベラック」デアツタ。俘虜達ハ古イ草蓆リノ「タ
タミ」ヲ敷イタ床ノ上ニ寝タト三區ニ二名デアツ
タ。二百六十三名ノ將校ト兵ノ臥床面積ハ四千六
百〇八平方呎即チ一人當リ十八平方呎デアツタ。
コレハ總ベテノ病人ヲモ含ンダ彼等ノ爲メニ別ノ

Doc 5264A

2.

設備ハ設ケラレナカツタ。軍根ヤ盛ハ瓜爾防ケ
テヘナカツタ。修繕用ノ材料ハ具ヘラレズ、小
屋ハ南京東、瀋東、鉄嶺、鳳、長、鎮テ充満シ
テ居タ。衛生的施設ヤ衛生ハ全然俟知シテキタ
カ又ハ衛生原素ヲナシタ。瓜ノ軍防法ハナカ
ツタ。日本軍ハ全戦ノ状態ニ處シテハ壯ダ無心
心デアリ、再三ニ回ス信索ニモ通ハラス何等
助ハ具ヘラレナカツタ。倭兵ハ土民ヲ侵入サレ
タ苦力ノ性ム不難ナ環境ヲ食得シ信イタ。收容
所ハ古イ過剰地カラ四分ノ一田ノ所ニアツタ。
コレガ爲ニ「マサリナ」ガ猖獗シタ。
三「アソボ」ラ去ル隊員ハ休養所ヘ行クノ
タカラ病人ヲ全郡進レテ行ク様ニト命ゼラレタ。
コレニモ通ハラス倭兵ハ進駐作業ヲ組織的ニ始
メサセラレタ。從ツテ管見進ハ信進ノ提防帯集、
高射砲々床廻リ、砲ノ掘附ケ、船倉カラ厚集糧
食ノ荷卸ニ従事シタ。作業時間ハ午前九時カラ
午後八時マデ日中一時間ノ休憩ガアツタ。最
初ハ一週ニ一ハ休日ガアツタガ後ニハ三週乃至
七週ニ唯一日ノ休日シカ無カツタ。作業ハ非常
ニ困難ナ條件ノ下テ行ハレタ。氣候ハ一年ノ大
部分ガ非常ニ暑クテ元氣ヲ殺グモノデアツタ。
停駐進ハ日本軍ノ將校、下士、兵カラ隠ラレタ

PURL: <http://www.legal-tools.org/doc/fa2fc2/>

PURL: <http://www.legal-tools.org/doc/fa2fc2/>

Doc 5264A

5.4

十四年ノ終マデハ小島ノ南ト西岸ガ間に在リ
タガソレカラ此等ノ死體ハ止ツタ。

(十一)一九四四年ト一九四五年中ニ「クイシヨ」ノ
町ガ長々燃焼サレタノニ在リテラス死體數ニ推
シテハ同数ガ在リタル事アルト何等顯示ス
サレナカツタ。廣野島及他ノ諸島ニ在リタル死體
ノ近クニアリタル事アル事分目録ニ在リタツタ。
廣野島ニ在リタル死體ハ推定ケラレタ。死體數ノ
推定ハ同定スル以テガ時ニハ廣野島ニ在リタル
死體ハ近クニ在リタ。

(十二)一九四五年四月ニ在リテ島ノ一隊ト一隊ニ
在リタル中「グリタ」島ニ在リタル、日本軍ノ在
リタル島ニ在リタル死體ニ在リタ。

(十三)飢餓、疾病、砲撃カラ在リタル死亡ハ三年
ノ中ニ其ノ數ハ二百六十三名カラ百八十二名ニ
減少セシメタ。

(十四) 「アイ・エフ・マシロー」